

Yotsubo Note

モータースポーツで広がる自由

モータースポーツと聞くと、レーシングカーや大型バイクを思い浮かべる方も多いかもしれません。
でも今は、もっと身近で手軽に楽しめる存在に。まだ自転車に乗れない子供でも楽しめるほど、ぐっとハードルが下がっています。
身体をのびのび動かす機会が減った今だからこそ、心も体も育つ大切な幼少期に、モータースポーツを始めてみませんか？



DF DIRT FREAK

モーターバイクって実はかんたん

親自身がバイク未経験だと、「なんだか難しそう」「子供に扱えるの?」「コントロールが効かなくて危ないんじゃないか…」なんて不安もつきもの。でもご安心を。今どきのキッズバイクは、開発者達の研究や努力により、こんなに簡単に、身近に楽しめるものになってきています。

キックバイクからのステップアップ

自転車の前段階として人気なのが、足で地面を蹴って進むキックバイク。2〜3歳でもスイスイ乗れる子が多いですが、キックバイクに乗れたからといって自転車がすぐに乗れるわけではありません。ペダルを漕ぐ動きが加わる自転車は、幼い子には難しく、転倒して苦手意識を持ってしまうことも。そこでおすすめなのが、電動キッズバイク「ヨツバモト」。小柄でシンプルな見た目はキックバイクに慣れた子も親しみやすく、簡単操作で楽に進める感覚に夢中になるはずですよ。

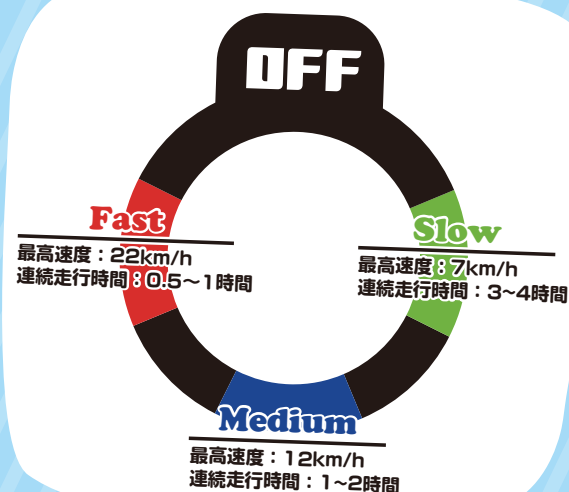


実は怖くない! 初めてバイク

いくら見た目や操作がシンプルだからといって、やはりモーターを積んだ機械。子供に一人で操作させるのは心配…というお声もしばしば。でもご安心を、ヨツバモトには安心・安全に配慮した工夫がいっぱい!ここでは、ヨツバモトのMeow(ミャウ)16という、4歳からの初めてバイクを想定した16インチのモデルをご紹介します!

3つのスピードモード

Meow (ミャウ) はSlow・Medium・Fastの3段階スピードモードを採用。専用キーがないとモード変更ができないので、お子様が勝手に速くしてしまう心配もありません。最低速のSlowモードは時速約6〜7キロ。大人が早歩きでついていける速さで、ブレーキに慣れていない子でも足で止まります。子供がバイクに慣れないうちは、後ろをついて歩いてあげれば子供達も安心して練習に励めます。



転ぶとモーターがストップ

水平状態を検出するセンサー(3軸センサー)が内蔵されており、転倒を検知すると、即座にモーターをストップ!車体を起こしてスロットルを全閉にするまで、モーターは再始動しない仕組みなので、誤作動や暴走の心配もありません。ヨツバモトは、ライダー本人はもちろん、周囲の人の安全にも配慮した設計。安心して楽しく遊べる電動バイクです。



電動だから静か

小さな子供は、大人が思いもよらないものに驚いたり、恐怖したりするもの。音もそのうちの一つ。普通のエンジンバイクなら避けられない、大きくて聞きなれないエンジン音も、子供にとっては怖い存在かもしれません。その点、ヨツバモトは電動でエンジン音も揺れもなく、わずかなモーター音だけで静かに走ります。静かでも力強い駆動力で、スイスイ気持ちよく進めます。



ヨツバモトが怖くない 5つのひみつ

軽さから生まれる 自由な遊び

16インチの自転車は平均で約9〜11キロ。6歳児の体重の半分ほどで、重すぎることはありません。ただ、自転車は足を地面から離し、ペダルを漕ぎながらバランスを取る必要があります。自分と自転車の重さを支えながら進むため、キックバイクはスイスイでも、自転車には苦戦してしまうという子も多いようです。

自転車は?

キックバイクの次に自転車をお考えの皆様に、ぜひ注目してほしいのが「重さ」です。4歳の子供の平均的な体重はおおよそ14キロ。キックバイクは3キロ程度のものが多く、自身の体重の4分の1以下。その軽さから、子供でも簡単に取りまわす事ができ、ゆえに子供たちは自由に楽しく遊びまわれるのです。



ヨツバモトは?

Meow (ミャウ) 16の重さは約12キロ。自転車より重めですが、体重より軽く漕ぐ力も不要なので、すぐ自由に動けます。ペダルがない分ブレが少なく、足への負担も軽減。転倒しても自分で起こして再スタート。たっぷり遊びながら自然とバランス感覚が身につく、曲がったり凹凸道もスムーズ。軽くて扱いやすい電動バイクだから、子供の自由な遊びを妨げません。



両足がしっかり届く 低めのシート高

キックバイクからのステップアップにヨツバモトが最適なのは、安定感のある低めのシート高のおかげ。キックバイク同様に両足がしっかり地面につくことで、子供も安心してバイクに親しめます。Meow (ミャウ) のSlowモードはブレーキもキックバイクと同様、足で止めることができます!繰り返すうちに自然と地面から足を離す時間が増え、バランス能力が身についていきます。





“ちょっと特別”を日常に



ここまで、電動バイクの安全性などを紹介してきましたが、
やはり気になるのはお手入れや持ち運びについてではないでしょうか？
今までバイクに乗ったことも無いし、ましてや手入れなんて…と、難しく考える必要はありません。
ヨツバモトは、今の日常に負担なく始められるよう、ご家族の事も考えた“ちょっと特別”な電動バイクです。



車にも楽々積める

Meow(ミャウ)16の重さは約12キロ。平均的な2歳のお子様と変わらない重さ。補助輪やカゴがないので自転車よりもコンパクト。電動で燃料なども積んでいないので、横倒しにしても逆さにしても大丈夫です。気軽に車に乗せて、ちょっと特別なアクティビティを、簡単に日常に♪



洗車も水たまりもOK！

精密な電子部品はフレームの中。後輪ホイールの中にモーターを配置したことで、重心を下げ車体の安定感を向上しました。モーターは防水仕様なので、水たまりに入っても大丈夫。汚れた際は洗車もできます。そんなシンプルな使い心地も、ヨツバモトの大きな魅力です。



コード一本で充電完了！

充電は専用の充電ケーブルでご自宅のコンセント（一般家庭用100V）に繋ぐだけで準備完了！2時間半ほどでフル充電に。Slowモードなら2～4時間、Fastモードでも30分～1時間程度遊べます。バッテリー残量が3分の1以下になると、インジケーター（電源ボタン）が青く点滅。充電するタイミングの目安にもなります。



モーターバイクでのびのび育つ

実は、幼い頃からバイクに乗る事で得られるメリットは、その後の運動神経に大きく影響します。将来的に体育・知育ともに大きな効果を期待できる、ゴールデンエイジと モータースポーツの関係性についてご紹介します。

生まれつき？ 運動神経の正体

運動能力や身体能力ってどうやって養えばいいの？生まれつきじゃないの？と思っている親御さんたちにごそ知ってほしい！
運動神経は生まれつきのものではありません。様々な運動経験によって伸ばしていくことができるのです。大人も子供も、初めての動作は上手くないもの。経験を積むことで筋力が鍛えられ、身体の動かし方=『コーディネーション能力』を学び、総合的に運動神経がよくなっていきます。

コーディネーション能力

コーディネーション能力とは、「感覚」「判断」「動作」を組み合わせ、体を思い通りに動かす力のこと。具体的には、バランス感覚・リズム感・タイミング・空間認知など、さまざまな要素を含んでいます。電動バイクのように、自分の体と乗り物を一体化させて動かす遊びは、この能力を育むのに最適です。操作に慣れてくると、子どもたちは遊びの中で自然に「見る→判断する→動く」という流れを身につけ、体の動かし方がどんどん上手になります。

識別能力

定位能力

変換能力

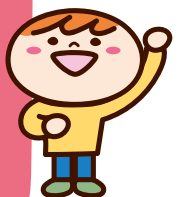
反応能力

リズム能力

バランス能力

連結能力

UP!





ゴールデンエイジ

「ゴールデンエイジ」とは、運動神経が大きく伸びる特別な時期のこと。おおよそ5歳～12歳ごろにあたり、新しい動きや操作をスムーズに覚える力がぐんと高まります。この時期に多様な動きを経験することが、将来の運動能力の土台づくりにつながります。その前段階となるのが、3歳～6歳ごろの「プレゴールデンエイジ」。走ったり、跳ねたり、バランスをとったりと、全身を使った遊びを通して、体の使い方や「動く楽しさ」を学ぶ時期です。この時期の体験が、ゴールデンエイジでの大きな成長を支えます。電動バイクのように夢中になって遊べる環境は、こうした成長のタイミングを逃さず、楽しみながら力を伸ばすきっかけになります。



体幹とバランス能力

運動を始める前にまず鍛えたいのが、「体幹」と「バランス能力」です。体幹とは、首から上・手足を除いた体の中心部分のこと。ここを鍛えることで姿勢や動作が安定し、ケガの予防や体力向上にもつながります。近年は外遊びの減少で、バランス感覚が育ちにくくなっており、これがケガや疲れやすさの原因になることも。だからこそ、本格的な運動の前に「体幹」と「バランス能力」を育てることが、健やかな成長への第一歩です。



楽しく培う、運動の基礎

幼児期の運動経験が大切だとわかっていても、「どうやって経験するか」が課題です。年齢に合わない運動は飽きたりケガの原因になることも。だからこそ、遊び感覚で楽しく自然に体を動かせることが重要です。そのすべてを叶えるのが電動バイク。広いコースで自然に近い地面を踏みしめ、バランス感覚や体幹を無理なく鍛えられます。なにより「楽しい」「かっこいい」から続けられる—そんな体験が運動神経の向上や健やかな成長につながります。





運動で育つ3つの「心」



運動を通じて、子どもたちは身体だけでなく心も大きく育っていきます。

ルールを守る、挑戦する、協力する——そうした経験が、人としての成長につながっていきます。

電動バイクもまた、楽しみながら「がんばる力」や「自信」「思いやり」など、心の土台を育てるスポーツのひとつ。

ここでは、どのスポーツにも共通する3つの視点から、『電動バイクが育む“心の成長”』に注目します。



チャレンジする心

電動バイクは、普段の道路や公園とは違う特別なコースで乗ることが多く、慣れない環境に戸惑うこともあります。それでも一度バイクにまたがれば、好奇心と楽しさで夢中になる子がほとんど。自転車では入れなかった砂利道や坂道もスイスイ進めて、のびのび遊べます。汚れも気にせず、さまざまな環境にチャレンジする心が自然と育れます。



自分を信じる心

「自分を信じる心＝自信」は、成功体験から育れます。バイクに乗れるようになるまでの過程で、「両足を離れた」「止まれた」「曲がれた」など、小さな成功を何度も体感できます。そうした積み重ねが自己肯定感を高め、ポジティブな思考を育てていき、スポーツ以外の場面でも役立ちます。



より行動的に、より強い心に

自信をもってチャレンジできる心を持った子供たちは、より行動力に長けています。特にバイクは自分自身の判断が求められる場面が多く、誰のせいにもできません。自らの行動に伴う責任や結果を受け止める心と、行動してよかったと思える爽快感や達成感。そのどちらもが織りなされ、より強い心に育っていきます。

一番大切なこと

電動バイクによって育まれる心と身体。中でも大切なのは、「運動は、のびのび楽しく」ということです。

楽しく体を動かすことで脳機能の向上が期待される一方、無理にやらせる運動はやる気を奪い、ストレスにつながることもあります。

子どもが自発的に取り組み、楽しく続けられる運動環境をつくるのが大切であり、ヨツバモトはそのサポートをしています。



各地でイベント出展もしています

ヨツバモトは、全国各地のイベントや試乗会にも積極的に出店しています。会場では、実際にバイクを見て、触れて、乗って、カタログや写真だけではわからない魅力を存分に体感できます。お子さまが笑顔で走る姿や、軽やかな操作感、迫力あるデザインをその場で確かめられるのもイベントならではの、ぜひお近くの会場に足を運んで、ヨツバモトならではの楽しさを直接感じてください。



Yotsuba moto Meow

ヨツバモト MeowIIは、ランバイクより少し大きい16インチタイヤを備えた、小さなお子さま向けの軽量電動ダートバイクです。約12kgのコンパクトボディと3段階のスピード調整で、成長に合わせて安全にステップアップ可能。転倒時にはモーターが自動停止する安心設計に加え、防水仕様やチェーンレス構造でお手入れも簡単。付属デカールで自分だけの一台にカスタムも楽しめます。

ミ ャ ウ Meow 16-II

対象年齢の目安：4歳～

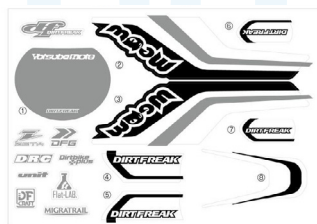
価格：¥109,780 (税込)

品番：F3621

レッド



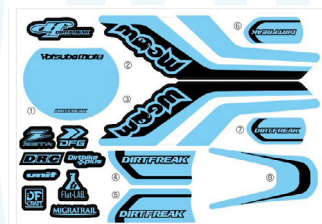
グレー



イエロー



ブルー



Yotsuba Moto WOOF

ヨツバモト WOOFは、モトクロスとトライアルの2つのスタイルに切り替え可能な本格仕様の軽量電動ダートバイクで、48V・750Wのパワフルな走り、無段階速度調整や晴／雨モード切り替えなどの安心配慮が充実し、スライド式バッテリーにより1日たっぷり遊べる上に、子どもの手にフィットする専用スロットルやインホイールモーターの安全設計。明るく軽快な「イエロー」と、落ち着いた輝きの「カッパー」2色のデカールが付属。

ウーフ WOOF16

対象年齢の目安：7歳～

価格：¥209,000 (税込)

品番：F3731

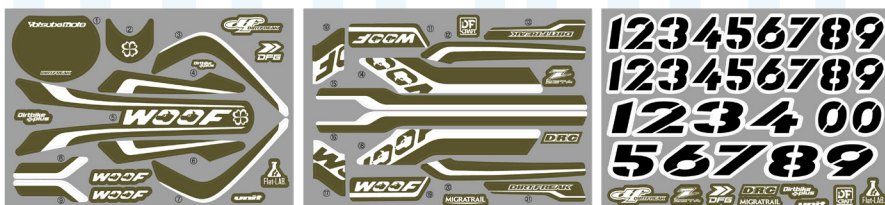
ウーフ WOOF20

対象年齢の目安：9歳～

価格：¥220,000 (税込)

品番：F3733

カッパー



イエロー



モトクロスモード



トライアルモード

Yotsuba Moto



初めての電動バイクに
ヨツバモトのスタンダードモデル
Meow (ミャウ)



欲張りに遊ぼう
ワンランク上の電動バイク
Woof (ウーフ)

株式会社 ダートフリーク 〒489-0005 愛知県瀬戸市中水野町2-30 TEL: 0561-86-8301
WWW.DIRTFREAK.CO.JP [f /dirtfreakmoto](https://www.facebook.com/dirtfreakmoto) [✕ @df_moto](https://twitter.com/df_moto) [@ /dirtfreak_moto](https://www.instagram.com/dirtfreak_moto)